

# 認知症介護者支援 3 本柱の研修事業

一般社団法人 久留米健康くらぶ

〒830-0023 福岡県久留米市中央町35-1

## 助成事業の概要

目的：介護者の 3 本柱 ((1) 介護男性の集い (2) 介護女性 (レディース) の集い (3) 子ども世代のオンライン介護者の集い) を実施し、介護者の負担軽減と対応の改善で認知症ご本人の進行防止を図る。

1. オンライン介護者の集い (50 歳前後) 研修：毎月第 3 土曜 20 時～ 21 時半に毎回 3 部構成で (1) 専門家のお話し (20 分) (2) 当ほっとカフェの 7 年間での事例紹介 (3) 質疑応答 (50 分) を実施

2. 男性介護者の集い (配偶者) 研修：毎月第 1 土曜 10 時～ 12 時で開催。特に認知症を正しく理解し穏やかな接し方を学ぶことで、介護負担軽減と奥様の進行を限りなく遅らせる

3. レディース介護者の集い (配偶者) 研修：毎月第 3 土曜 10 時～ 12 時で開催  
女性だけの集いは、日々介護負担がある中で、様々な課題を抱え、お互いが共感して癒しや自分だけではないという仲間意識が芽生え、明るく笑顔の集まりとなっている

## 事業の成果

1. オンライン介護者の集い (子ども世代 50 歳前後) 研修

- 1) 年間 12 回実施し、参加者は忙しい世代で、19 時半～を 20 時～に変更し、リアル 5～6

名で後は録画視聴が 4～5 名で推移した

2) 最近は、質疑も随時活発となってきており、終わってからの相互のライン上での意見交換も出てきており、特定の 5 名前後ではあるが、仲間意識も強まり介護の課題を自主的に語るようになって来た

3) 何よりも本年 2/23 のほっとカフェ事例発表会では、3 名の方が発表されたのが大きな成果で、ほっとカフェの意義や介護申請の遅れた反省、専門家からは認知症は、最後の子育てとの教訓の話があり、正に人生最後まで教えられているとの認識を共有化した

2. 男性介護者の集い (配偶者) 研修

1) 毎回数名ではあるが、中身は濃くてそれぞれにとっては、介護負担を 1 つ 1 つ共有化しながら、月に 1 回の癒しであり気持ちを切り替えながら又来月に会おう！となっている

2) 2/23 の事例発表会でも 2 名が参加され、芯から集いのお陰で学びになったと言われ、接し方を学ぶ事での気持ちが楽になり、運営側としても継続の励みとなっている

3) 特に介護する二人の男性も要支援 1 となり、同じデイサービスに仲良く通いながら進行防止そして介護負担軽減にも寄与している

3. レディース介護者の集い (配偶者) 研修

1) 平均 6 名前後での集いで、ほぼ固定化してきており日頃の介護負担の大変さも忘れて笑顔で、お互いが共感しあって仲間意識も高まり困っている内容も具体的となってきた

2) 特に通帳の名義変更の事例や証券会社との対応そして後見人になるためには?等それぞれにとっても大切な事項であり、専門家の事例も含めて有意義な集いとなっている

3) 2/23 の事例発表会には、2名が参加され(1)奥様の接し方が変わり、気持ちも楽になりご主人も穏やかになり、素晴らしいモデル事例となった(2)ほっとカフェのお陰で、ご主人が楽しく過ごされ奥様は、介護者の集いで学び、芯から感謝の言葉を頂いている

4) 本年3月に、二人のご主人が相次いで亡くなり卒業となり、それぞれが大変お世話になったと言われ、今後は寂しくなった奥様の支援を継続していければと考えています

## 成果の広報・公表

2023年2月23日(祝日木曜)に8年間の「ほっとカフェ事例発表会」を開催

1) ほっとカフェ利用者の12名(男性介護者2名、女性介護者2名、子ども世代介護者3名)が発表し、参加者も約50名の集まりとなった。

2) 専門家で8年間連携してきた地域の脳神経内科の先生と元看護師及び認知症ケア指導員からもそれぞれ15分~20分のお話で、如何に認知症カフェが早期発見・進行防止に役立ち、専門機関の橋渡しや繋ぎになっているかのコメントを頂き、専門家としてもこのような学びの場はないとの言葉を頂いている

3) 発表会をお聞きした方々が、利用者のお話し専門家のお話しを聞かれて、様々な感動と学びを頂いたとの反響が大きく、8年間の成果の公表を実施して良かったと痛感している

4) 取材された大手新聞社の記者は、正に認知症

カフェが、地域になくてはならない居場所であり、介護者の集いで介護負担軽減と認知症ご本人の接し方の改善で、日々の生活が穏やかになっている事を確認し、多くの方に伝えていきたいと言われ記事の掲載が、遅れているが 近い内に掲載予定で、楽しみとなっている

## 今後の展開

1. 今後ともそれぞれの集いを継続していくと共に、カフェ利用者のみでなく久留米市の全体に拡げての開催も検討していきたいと考えています。

2. 2/23 の事例発表会は、その成果と効果を知ることができて、各地域で開催する認知症セミナーの中でも伝えていきたいし、2023年度は企業やお店単位でも講演会等を開催して、周知啓発を図っていきたい

3. 特に現在各小学校校区に住民が主体に運営する認知症カフェの開設・運営を拡大し、それぞれのカフェからの相談者の対応も実施して、特に困っている介護家族の支援を行っていききたいと考えています

4. 特に子供世代のオンラインでの実施は、今も娘さんが米国や東京や関西地区での参加があり、際限がなく困っている方々の受入れ拡がりも検討していければと思います、2023年度はその調査研究で申請していてお陰様で認可を頂きました。しっかり調査を行い成果発表を目指していければと考えていますので、今後ともご指導ご支援を宜しくお願いします